紹介や出し物などを披露

して親睦を深めた。午後

の5年生と交流し、学校2日目は伊江小、西小

体験をした。

を知り、干し草を与える

よりも牛の数が多いこと

展農家では村内の 人口

ツ菓子の工場を見学。

きに苦戦しながらも、

ク

フス対抗の競争では声を

西江前の山城畜産

牛に近づき干し草を与える大北小の児童=11日、伊江村

港でハーリー体験が行わ から大口(ウプグチ)漁

離島体験で涙

名護大北

伊江島を満 喫

【伊江】名護市立大北|出し合って懸命にかいを|は児童全員で「島人ぬ

5年生115人が11日か 小学校(玉城奎校長)の 最終日はワー

一一が出航すると涙を流す 民家に感謝した。 宝」を合唱して受け入れ

地元の児童らと交流を深 めた。県の離島体験交流

促進事業の一環。

を行い、ラム酒やピーナ

初日は伊江港で入村式

フェリ

真立てを作ってとても良 い記念になった」と話し ちゃんと一緒に貝殻で写 登り、ハーリー体験もす ごく楽しかった。島の母 け別れを惜しんだ。 て城山(ぐすくやま)に 末吉愛華さんは (金城幸人通信員 初め

(2012年7月22日 27面)

☆大北小の児童が伊江島で体験したことを記事の中から抜き出してみよう。

☆村内の人口より牛の数が多いという伊江村の人口数、特産品などを調べてみ よう。

> 年 組 名前